

諏訪湖周辺の浸水被害を解消します！

～河川激甚災害対策特別緊急事業（激特事業）～
～河川災害復旧助成事業（助成事業）～

<今回の災害の特徴>

★諏訪湖流域で観測史上最大雨量を記録、23年ぶりの大浸水

平成18年7月豪雨により総雨量400mm(釜口水門雨量観測所：7月17日～19日)を記録し、諏訪湖の水位が計画高水位を超えたことなどにより、諏訪湖周辺で浸水家屋2,541戸に及ぶ被害が発生しました。

大動脈のJR中央本線や国道20号も37時間に渡り全面通行止めとなり、社会経済にも大きな影響を与えました。

また、諏訪湖の下流でも天竜川（直轄管理区間）の堤防が決壊する等、広い範囲に被害が生じました。

<諏訪湖・天竜川激特事業、天竜川助成事業の特徴>

★再度災害防止のため、激特事業と助成事業を同時に採択

国土交通省では、今回の豪雨に対する再度災害防止を図ることを目的として、武井田川等の諏訪湖流入河川及び天竜川(直轄区間)を激特事業に採択しました。また、護岸等施設の災害復旧に併せて、再度災害の防止を図るため、舟渡川及び天竜川(長野県管理区間)を災害復旧助成事業に採択しました。

★概ね5年間の事業により家屋浸水被害をほぼ解消

激特事業・助成事業とあわせ、市町による浸水対策を実施することにより、事業完了後には今回の豪雨と同じ量の豪雨が襲ったとしても、家屋浸水被害は概ね解消されます。

<激特事業・助成事業の概要>

【諏訪湖】

諏訪湖の洪水時水位を低下させるため、釜口水門の放流量を増加

諏訪湖からの唯一の放流口である釜口水門の操作規則の見直しを行い、釜口水門からの最大放流量をこれまでの400m³/sから430m³/sへ増加させ、平成18年7月豪雨が再度来襲しても、諏訪湖の水位が計画高水位以下となるよう低下させます。

【諏訪湖下流の天竜川】

釜口水門より下流の天竜川の改修

釜口水門の放流量430m³/sに対し流下能力が不足する天竜川の改修を行います。

【諏訪湖への流入河川】

諏訪湖からの逆流防止や諏訪湖への流入河川の氾濫防止

諏訪湖水位を計画高水位以下となるように低下させたいうえで、さらに残る諏訪湖からの逆流や流入河川の氾濫の防止を図るための対策を行います。

(参考)

■ 諏訪湖・天竜川激特事業の概要

● 事業区間及び事業内容

【中部地整】

天竜川 約20km 河道掘削、築堤、護岸等

【長野県】

武井田川の諏訪湖合流点 逆流防止水門設置

鴨池川の諏訪湖合流点 逆流防止水門設置

新川 約1km 河道掘削、築堤等

承知川 約0.2km 河道掘削、護岸等

その他諏訪湖流入河川の諏訪湖合流点では逆流防止のための樋門・樋管改修
(全体43ヶ所のうち対策が必要な20ヶ所(改修16ヶ所、統合4ヶ所))

● 事業期間 平成18年度～平成22年度の5ヶ年間

● 採択事業費 142億円(中部地整84億円、長野県58億円)

■ 天竜川助成事業の概要

● 事業区間及び事業内容

【長野県】

天竜川 約11.5km 河道掘削、護岸等

舟渡川 約1.6km 河道掘削、護岸等

● 事業期間 平成18年度～平成21年度の4ヶ年間

● 採択事業費 34億円(長野県)

天竜川H18.7災害対応、河川激特事業及び河川災害復旧助成事業の整備内容 概要図

釜口水門

諏訪湖水位をHWLまで低下するための
操作規則見直し

・最大放流量 $400\text{m}^3/\text{s} \rightarrow 430\text{m}^3/\text{s}$

併せて下流河道の流下能力が足りない
ため、 $430\text{m}^3/\text{s}$ 対応の河道改修

天竜川災害復旧助成事業(補助)

〔岡谷辰野地区〕

釜口水門放流量 $430\text{m}^3/\text{s}$ 対応の天竜川
(県区間)改修

諏訪湖・天竜川河川激甚災害 対策特別緊急事業(直轄)

釜口水門放流量 $430\text{m}^3/\text{s}$ 対応の天竜川
(直轄区間)改修




諏訪湖・天竜川河川激甚災害 対策特別緊急事業(補助)

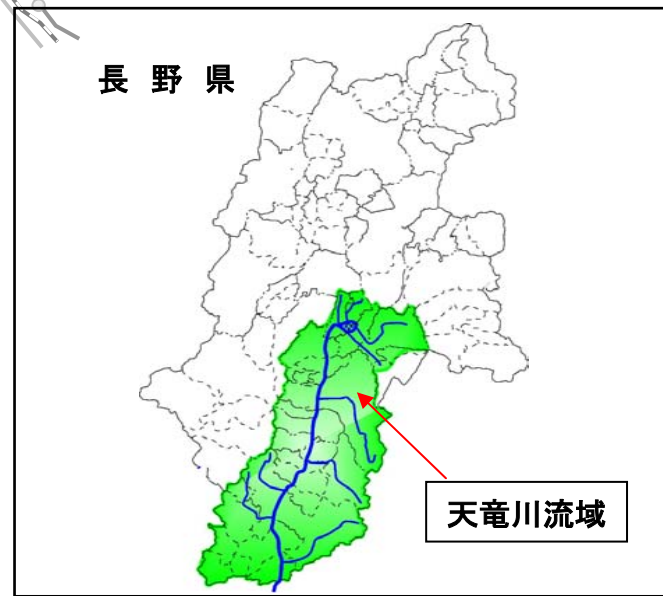
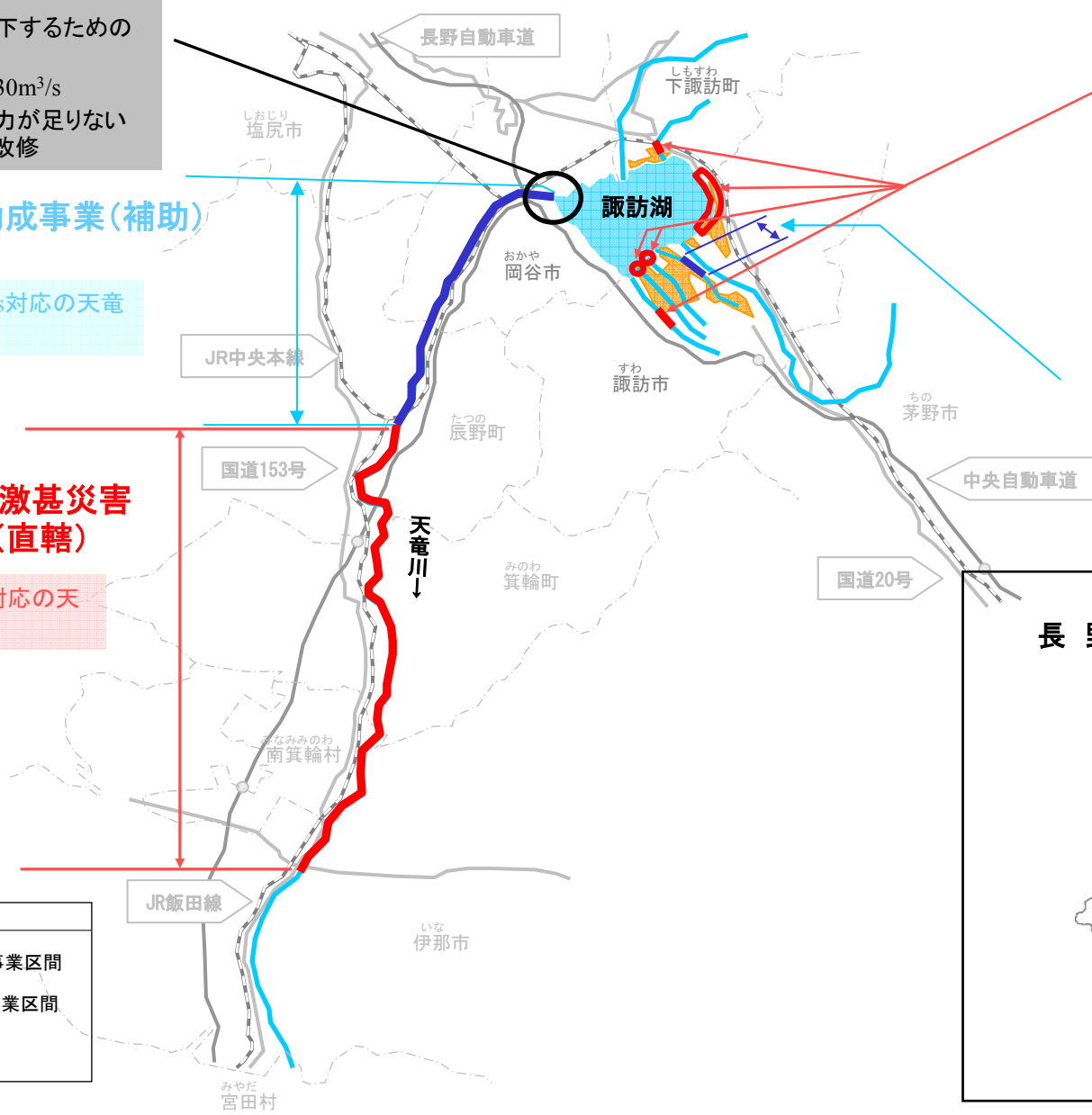
諏訪湖水位をHWLまで低下させても生ずる
逆流・河川氾濫の防止

天竜川災害復旧助成事業(補助)

〔諏訪地区〕

諏訪湖水位をHWLまで低下させても生ずる
舟渡川の氾濫防止

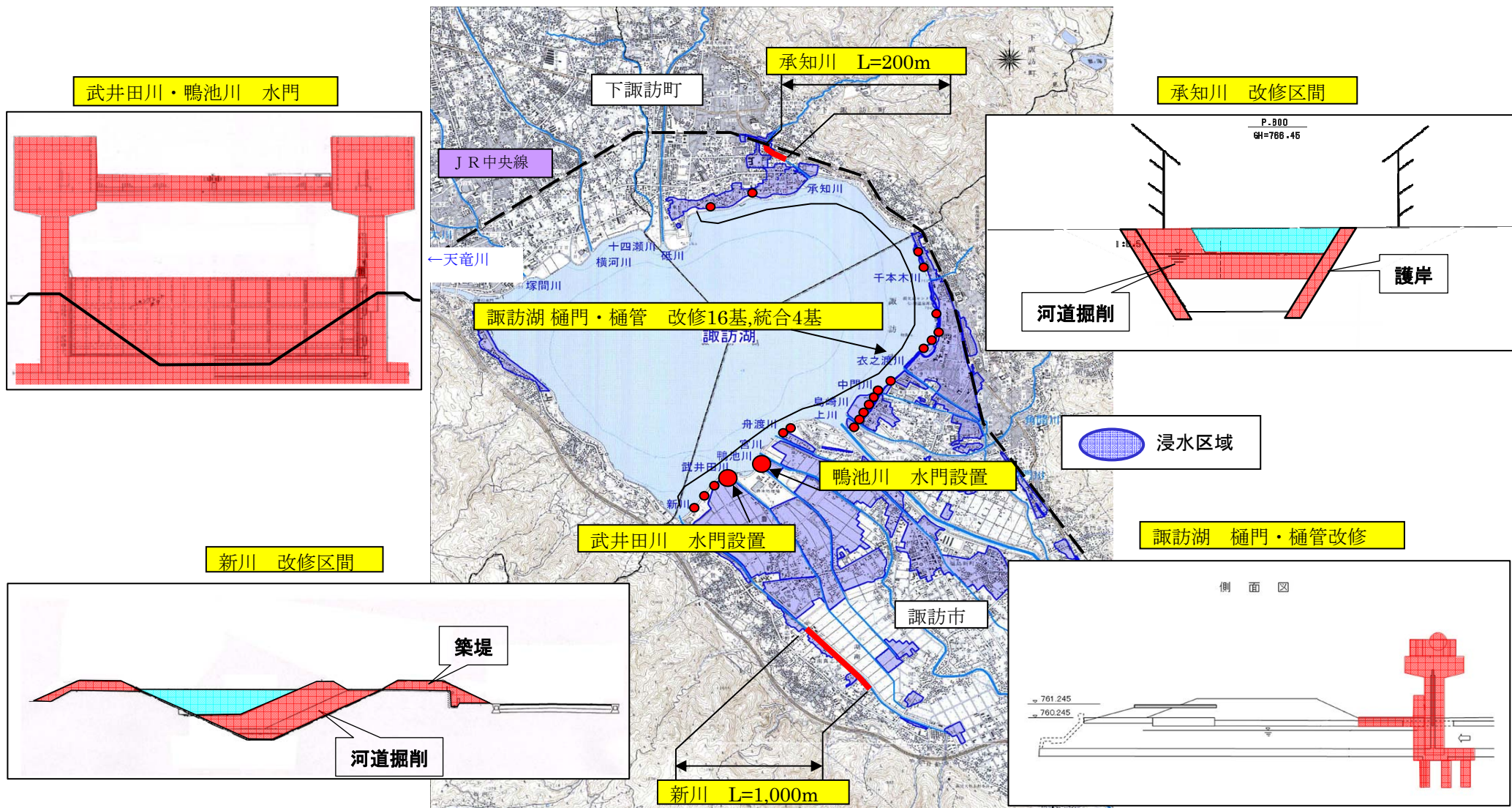
凡 例	
	…河川激特事業区間
	…河川助成事業区間
	…浸水範囲



天竜川流域

諏訪湖・天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業の実施箇所と整備内容(長野県管理区間)

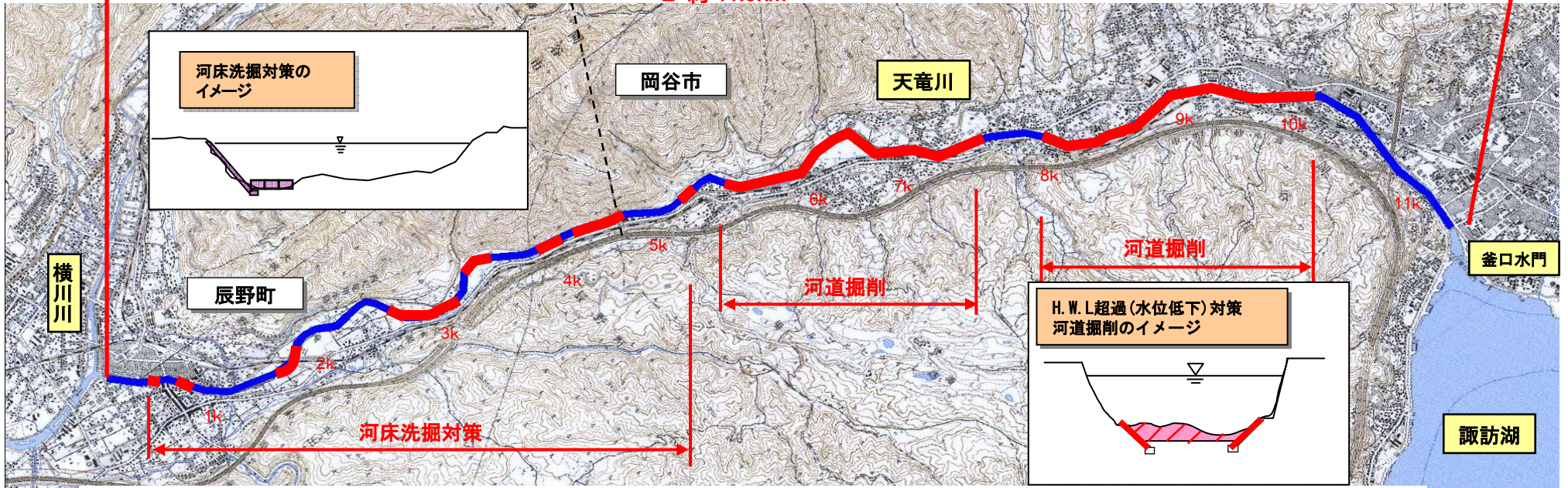
- ・釜口水門の最大の放流量を400m³/sから430m³/sに増大し、諏訪湖水位をHWLに 低下し、諏訪湖からの逆流による氾濫及び諏訪湖流入河川の溢水氾濫による被害を解消する。
- ・釜口水門下流の天竜川(県区間及び直轄区間)においては、釜口水門放流量430m³/sに対応する河道改修を行う。
- ・諏訪湖周辺においては、諏訪湖水位をHWLに低下しても残る、諏訪湖からの逆流や流入河川の氾濫を防止するため、水門、樋管等の逆流防止施設の整備及び流入河川の流下能力の増大を図る。
- ・以上の対策を実施後、部分的に残る内水被害は、地元市町が県と連携して内水対策を実施していく予定。



天竜川災害復旧助成事業

天竜川災害復旧助成事業【岡谷辰野地区】

L=約 11.5km



天竜川災害復旧助成事業【諏訪地区】

L= 約 1.6km

河道掘削+護岸改良

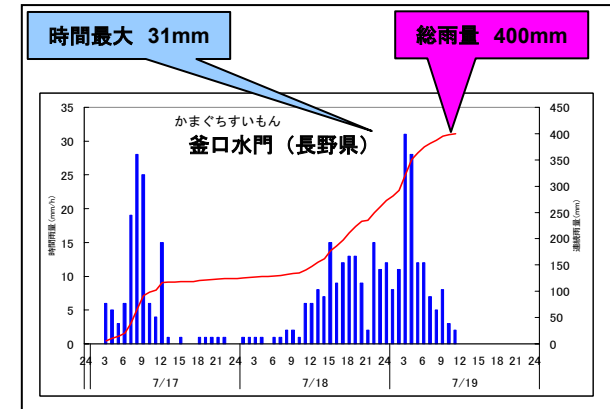
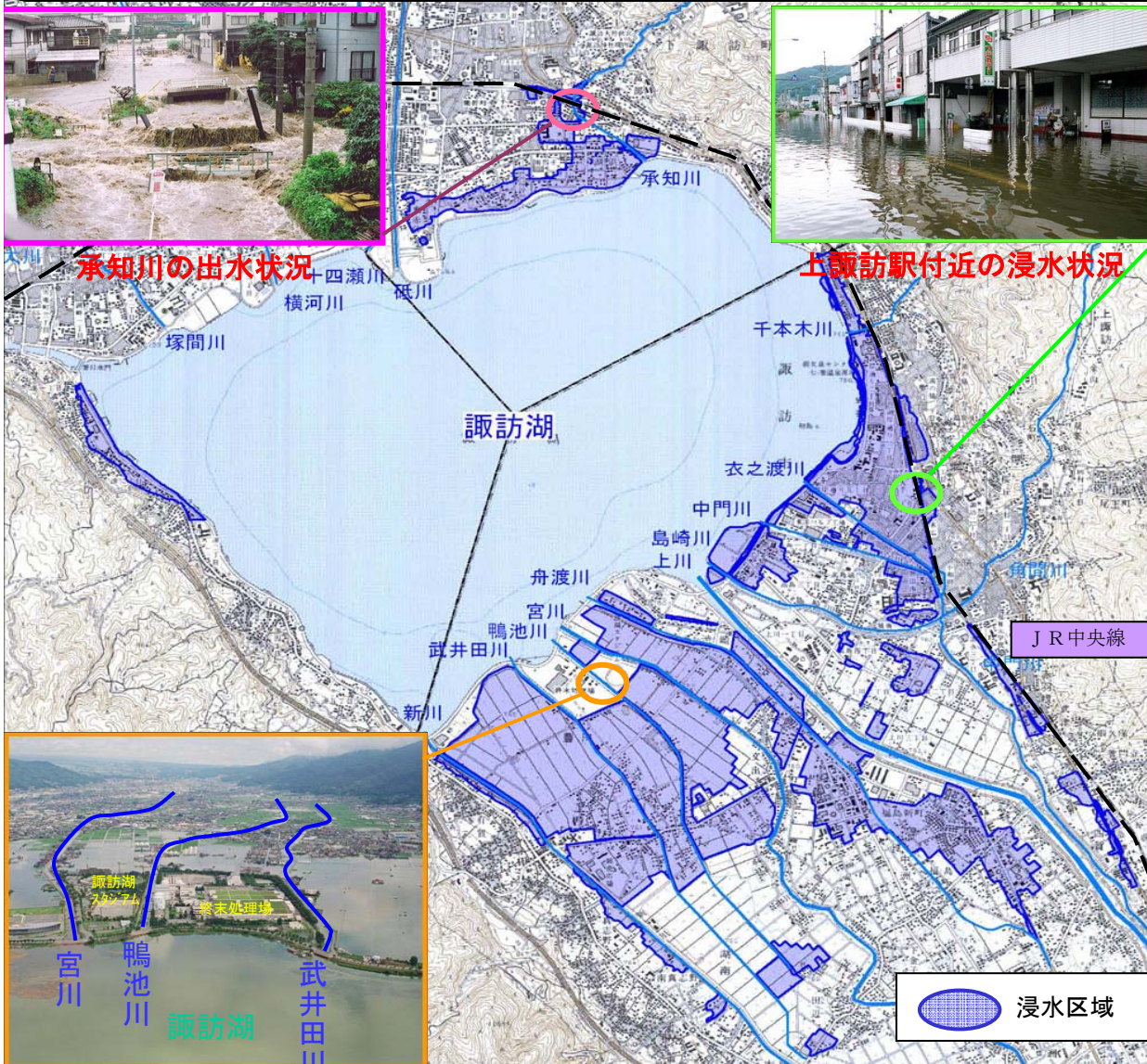


(参考)降雨、水位、浸水被害の状況

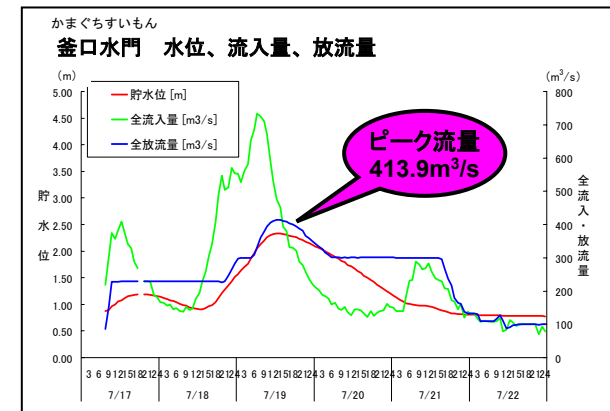
諏訪湖周辺で観測史上最大の雨量を記録

天竜川上流の諏訪湖では、平成18年7月豪雨に伴い総雨量400mm(岡谷市釜口水門(長野県))を記録した。この雨による諏訪湖への流入河川の影響で諏訪湖水位が計画高水位を13cm上回り、湖周辺で溢水が生じた。

諏訪湖周辺で、浸水面積560ha、浸水家屋2,541戸(床上浸水1076戸、床下浸水1465戸)の甚大な浸水被害が発生した。



観測史上最大の雨量(流域平均)



HWLを13cm超過し、被害拡大